

砺波市文化会館 新館長挨拶



『素晴らしい環境の中で』

砺波市文化会館長 竹正哲郎

四月に館長となり、関係者に支えられ、あっという間にお盆となりました。

来て早々の四月、NHK「のど自慢」公開放送や「岩崎宏美」コンサート、各団体の総会や講演会等から月末のチューリップフェア時に多くの方々に来ていただいたところであり、その分職員も大忙しでありました。

私が、この文化会館に来てよかったことの一つに、立地環境が素晴らしいということです。事務室からはチューリップ公園北門付近が、また大ホール「ホワイエ」からは大花壇（建設当初は立山連峰が眺められたとか）が見られ、チューリップが色づく頃は心を落ち着かせてくれました。また、遠方からの来館者の方々からも環境のよさを褒めていただいているところです。

さて、砺波市文化会館の昨年度利用者数は、農村環境改善センターを含めて135,000人余りでありました。ここ10年余りは増減はありましたが、ほぼ横ばいで推移しているところです。この間、市内では新しい施設ができ利用者が分散傾向となっておりますが、職員一同利用増をめざして智恵を絞ってきたところでもあります。伝統芸能活動をしている団体では、若い世代の加入がないとの声を聞きます。文化会館の設置目的には「市民の芸術文化の普及を図る」とあり、貸し館だけでなく自主事業での文化の普及をはじめ、文化団体の活動支援や協働しての活動育成を推進しているところです。現在、市民ミュージカルや児童合唱団、となみ野バンドクリニックなど青少年主体の事業を推進しているところでもあります。また、毎年行っている幼小中学校向け団体鑑賞は生の舞台を子供たちに観てもらい、芸術文化への親しみを持ってもらうための事業として続けています。今後文化会館で活動している人たちの中から新たな活動グループが誕生するのを期待しているところでもあります。そして、素晴らしい環境の公園で活動グループが何か出来ないか思案しているこの頃でもあります。

「めざましクラシックスinとなみ」

「音楽の絵本クールブラス」

砺波市文化会館企画係 湯尾雅紀

砺波市文化会館では、さまざまな自主事業を企画しておりますが、今回は、10月、11月に開催いたします公演についてご案内いたします。

10月16日に開催いたしますのは「めざましクラシックスinとなみ」です。

皆様もよくご存じの、ヴァイオリニスト高嶋ちさ子さんと、フジテレビアナウンサー軽部真一さんがメインキャストを務める、あまり堅苦しきのない、カジュアルなクラシックコンサートです。毎年全国各地で公演され、富山県でも毎年のように公演していらっしゃいますが、ここ、砺波地域での開催は今回が初めてです。私も昨年、上市町の北アルプス文化センターでの公演を拝見しました。第一、第二ヴァイオリン、ビオラ、チェロ、ピアノが織りなすメロディーはとても心地よく響いていました。

高嶋さん持ち味のちょっときつめの小気味いいおしゃべりを軽部さんが上手にリードし、他の出演者も交えながら、音の解説や出演者エピソードなどを織り交ぜた楽しいトークのおかげもあって、クラシックにあまり明るくない私でも、その魅力を十分に感じる事ができました。

もちろん、オーケストラなどの本格的なクラシックも素晴らしいですが、今回は、ちょっとくだけた感じの笑いあふれるコンサートをぜひ楽しんでいただきたいと思います。さらに今回は、スペシャルゲストとして、三味線プレイヤーの上妻宏光さんも登場され、三味線とのコラボが非常に楽しみです。

そして、次は、11月19日に開催いたします「音楽の絵本クールブラス」です。こちらは希少動物が音楽を奏するというもの。指揮者はオカピ。トランペットはインドライオン。トロンボーンはスマトラトラ。ピアノはうさぎ、サクソスはきつねといったふうに演奏者はすべて動物たちなのです。

「絵本」とはということなのでしょうか。例えば、子供たちに宮沢賢治の本を読み聞かせてもとても理解できるものではありませんが、宮沢賢治の絵本を読むとその世界に入りやすい。それは、絵で見ることによって、その世界を想像しやすくなるからです。そうすれば興味が出てきます。本の世界に入りやすくなります。それを音楽でできないかと考えられたのが、この「音楽の絵本」です。実際の絵本を音楽で表現するのではないのです。動物たちが演奏すると、子どもたちはまず目の前の風景に興味を持ちます。そして、その動物たちが音楽を演奏することにも興味を持ちます。そうすれば自然と音楽を聴く。音の世界に入って行く。それが「音楽の絵本」の世界です。

一流プロの舞台は、未就学児が入れないことが多いです。すると小さいお子さんをお持ちのお父さん、お母さんも来られないことがあります。たまにも、子どもを連れて、みんなで見に来られる、聴きに来られるものがあったらいいじゃないかと思い、この公演を企画しました。

今回の「音楽の絵本」は、ビッグバンドスタイル。本格的なクラシックから、ジャズやアニメに童謡まで、動物たちが奏でる音楽をぜひ楽しんでください。



軽部真一さんと高嶋ちさ子さん
photo: Munemitsu Sugihara

—編集後記—

猛暑も過ぎ、いよいよ芸術の秋。私は7月に続き、京都へフェルメールを観に行ってきました。昨今、フェルメール、レンブラントをはじめとする17世紀オランダ絵画が人気です。オランダといえばチューリップ。チューリップといえば砺波。いつか砺波市美術館で、黄金の17世紀オランダ絵画展が観られるといいですね。(M)